

もうフェイク情報にだまされない!

フェイクを見抜く

「危険」情報の読み解き方

唐木英明 小島正美 著

偽情報、誤情報、デマ、不正確な情報、偏った情報……
世の中に氾濫するフェイク情報にどう対処すればよいのか

科学とリスクにまつわる
フェイクと闘い続けてきた著者による
ファクトチェックの実践講義!



編集者から一言

「フェイクニュース」という言葉はすっかり定着しましたが、それが作られる手法についてはどんどん複雑化し、真偽を判断するのが難しくなっています。本書は報じる側の論理を知り尽くした著者による、フェイク情報の海で溺れないための遊泳術を身につけられる一冊となっています。

★四六判並製・304頁

【分野】政治・経済/社会問題/科学

目次

- 第1章 フェイクニュースを作り出す手法
- 第2章 【無農薬・無添加・オーガニック】
食のリスクをめぐるフェイクニュース
- 第3章 【遺伝子組み換え技術】ひとつの論文が世界に与えた衝撃
- 第4章 【除草剤グリホサート】フェイクニュース・ビジネスで大儲け
- 第5章 【ネオニコチノイド系殺虫剤】
メディアが好む「危ない情報」への対処策
- 第6章 【BSE・中国産食品・新型コロナウイルス・子宮頸がんワクチン】
記者のバイアスがニュースのバイアスを作る
- 第7章 【ゲノム編集技術・処理水問題】
進むメディアの「分断」、記者はどこまで自由か
- 終章 まとめと提言

著者略歴

唐木英明(からき・ひであき): 東京大学名誉教授。公益財団法人食の安全・安心財団理事長。獣医師。1964年東京大学農学部獣医学科卒業。同大助手、助教授、テキサス大学ダラス医学研究所研究員を経て、1987年に東京大学教授、同大アインストープ総合センター長、2003年に名誉教授。倉敷芸術科学大学学長、日本学術会議副会長などを経て現職。著書に『不安の構造 リスクを管理する方法』(エネルギーフォーラム新書)など。

小島正美(こじま・まさみ): 1951年愛知県犬山市生まれ。愛知県立大学卒業後、毎日新聞社入社。松本支局などを経て、東京本社・生活報道部で主に食の安全、健康・医療問題を担当し、2018年6月末で退社。「食」をテーマとして活動するジャーナリスト集団「食生活ジャーナリストの会」代表。主な著書に『みんなで考えるトリチウム水問題』(エネルギーフォーラム)、『メディア・バイアスの正体を明かす』(エネルギーフォーラム新書)など多数。

お申込・お問い合わせ

株式会社 ウェッジ

TEL: 03-5280-0528

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1 NBF小川町ビルディング3F

FAX 03-5217-2661

好評発売中!

番線印	申込数	販売条件(注文)	フェイクを見抜く 「危険」情報の読み解き方 唐木英明 小島正美 著 ISBN 978-4-86310-276-7 C0036 ¥1900 +税 四六判並製・304頁 ウェッジ 定価: 本体1,900円+税
令和 年 月 日	冊		